

Ⅲ 農業経営体（家族経営）

1 組織形態別経営体数

～農業経営体（家族経営）は31,139経営体（前回は12.1%減少）～

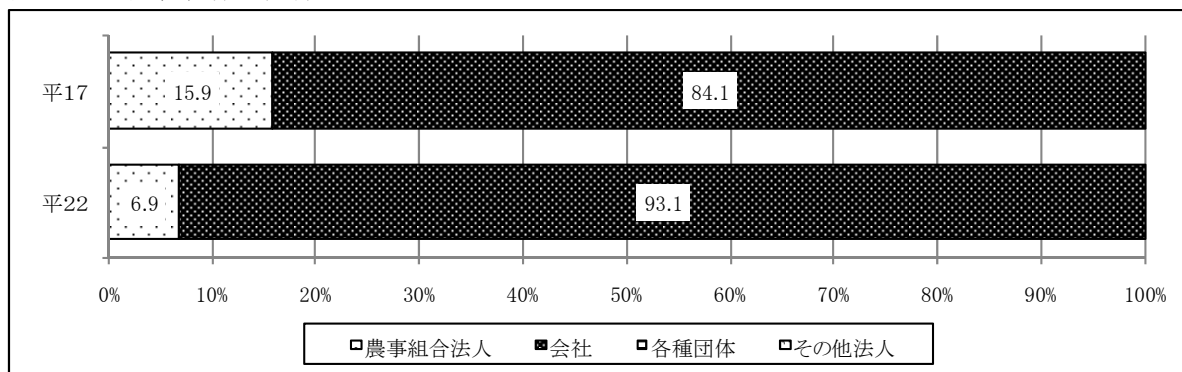
農業経営体のうち、農業経営体（家族経営）は31,139経営体となり、前回は比べ12.1%減少した。

これを組織形態別にみると、法人化している経営体数は145経営体（全体に占める割合0.5%）、法人化していない経営体数は30,994経営体（同99.5%）となった。

表 29 組織形態別経営体数 (単位：経営体、%)

		合計	法人化している					地方公共団体・財産区	法人化していない	個人経営体
			計	農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人			
実数	平17	35,419	132	21	111	-	-	-	35,287	35,287
	平22	31,139	145	10	135	-	-	-	30,994	30,994
	増減数	△ 4,280	13	△ 11	24	-	-	-	△ 4,293	△ 4,293
	増減率	△ 12.1	9.8	△ 52.4	21.6	-	-	-	△ 12.2	△ 12.2
構成比	平17	100.0	0.4	0.1	0.3	-	-	-	99.6	99.6
	平22	100.0	0.5	0.0	0.4	-	-	-	99.5	99.5

図 22 法人経営体の割合



2 経営耕地面積規模別経営体数

～5ha以上の農業経営体（家族経営）が増加～

農業経営体（家族経営）を経営耕地面積規模別にみると、1.0ha未満層は16,289経営体（全体に占める割合52.3%）で前回は比べ15.7%減、1.0～2.0ha層は8,271経営体（同26.6%）で12.4%減、2.0～3.0ha層は2,928経営体（同9.4%）で8.4%減、3.0～5.0ha層は2,228経営体（同7.2%）で2.1%減とそれぞれ減少した。

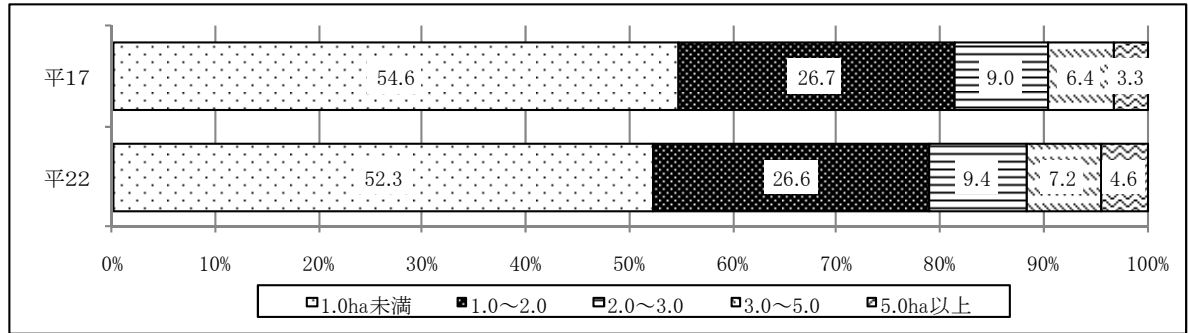
一方、5.0ha以上層は1,423経営体（同4.6%）で前回は比べ20.9%増加した。

表 30 経営耕地面積規模別経営体数

（単位：経営体、％）

		計	1.0ha未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0ha以上
実数	平17	35,419	19,331	9,440	3,195	2,276	1,177
	平22	31,139	16,289	8,271	2,928	2,228	1,423
増減数		△ 4,280	△ 3,042	△ 1,169	△ 267	△ 48	246
増減率		△ 12.1	△ 15.7	△ 12.4	△ 8.4	△ 2.1	20.9
構成比	平17	100.0	54.6	26.7	9.0	6.4	3.3
	平22	100.0	52.3	26.6	9.4	7.2	4.6

図 23 経営耕地面積規模別経営体の割合



(1) 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体数

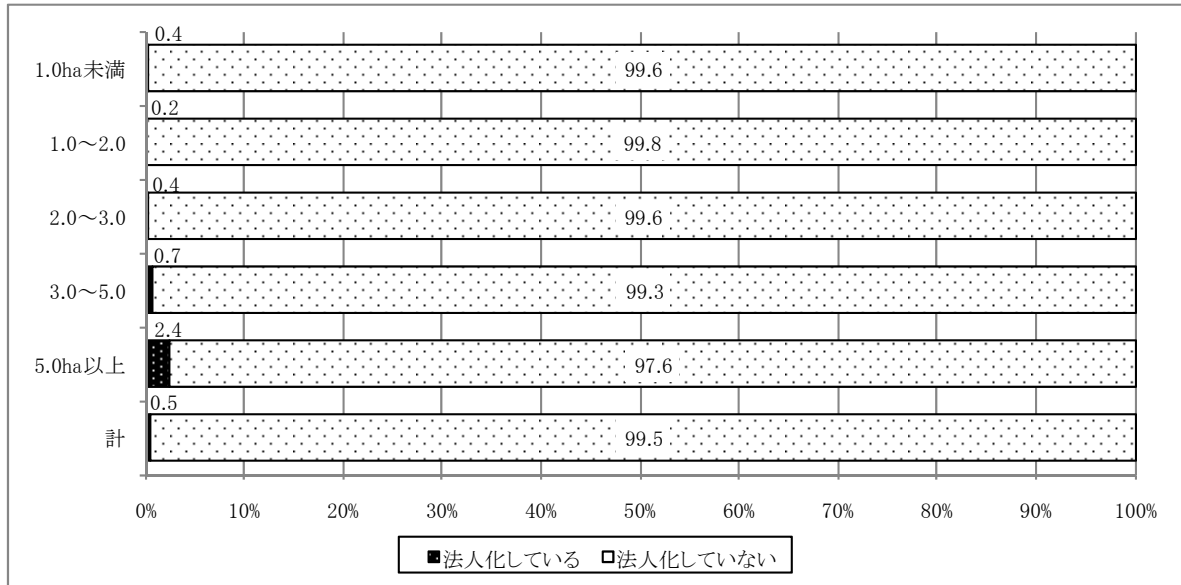
経営耕地面積規模別の経営体数を組織形態別にみると、5 ha 未満の各層では法人化している経営体がそれぞれ全体の1%未満であるが、5 ha 以上の階層では法人化している経営体が2.4%を占め、わずかに高くなっている。

表 31 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体数

（単位：経営体、％）

	計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区		
		農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体				
計	実数	31,139	145	10	135	-	-	30,994	30,994	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.4	-	-	99.5	99.5	-
1.0ha未満	実数	16,289	66	2	64	-	-	16,223	16,223	-
	構成比	100.0	0.4	0.0	0.4	-	-	99.6	99.6	-
1.0～2.0	実数	8,271	17	3	14	-	-	8,254	8,254	-
	構成比	100.0	0.2	0.0	0.2	-	-	99.8	99.8	-
2.0～3.0	実数	2,928	13	1	12	-	-	2,915	2,915	-
	構成比	100.0	0.4	0.0	0.4	-	-	99.6	99.6	-
3.0～5.0	実数	2,228	15	-	15	-	-	2,213	2,213	-
	構成比	100.0	0.7	-	0.7	-	-	99.3	99.3	-
5.0ha以上	実数	1,423	34	4	30	-	-	1,389	1,389	-
	構成比	100.0	2.4	0.3	2.1	-	-	97.6	97.6	-

図 24 組織形態別にみた経営耕地面積規模別経営体の割合



3 農産物販売金額規模別経営体数

～100万円未満の農業経営体（家族経営）が増加～

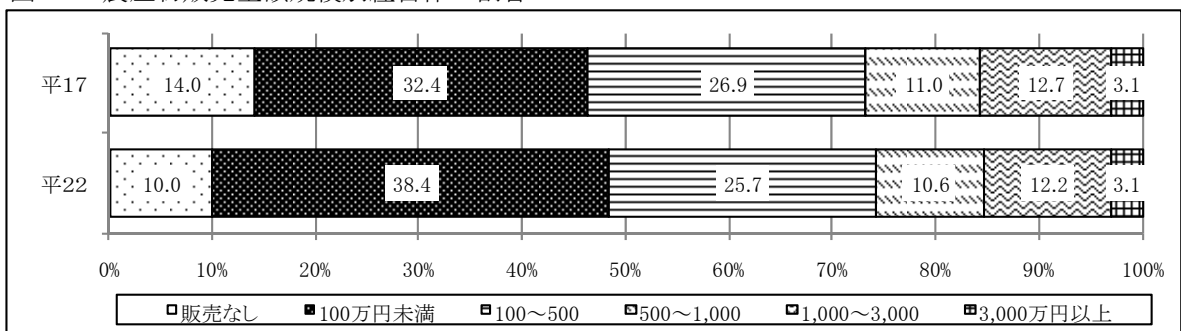
農業経営体（家族経営）を農産物販売金額規模別にみると、販売なしの階層は3,124経営体（全体に占める割合10.0%）で前回に比べ36.8%減、100～500万円層は8,004経営体（同25.7%）で15.9%減、500～1,000万円層は3,288経営体（同10.6%）で15.4%減、1,000～3,000万円層は3,797経営体（同12.2%）で15.5%減、3,000万円以上層は963経営体（同3.1%）で12.2%減とそれぞれ減少した。

一方、100万円未満層は11,963経営体（同38.4%）で前回に比べ4.2%増加した。

表 32 農産物販売金額規模別経営体数 (単位：経営体、%)

		計	販売なし	100万円未満	100～500	500～1,000	1,000～3,000	3,000万円以上
実数	平17	35,419	4,942	11,481	9,521	3,886	4,492	1,097
	平22	31,139	3,124	11,963	8,004	3,288	3,797	963
増減数		△ 4,280	△ 1,818	482	△ 1,517	△ 598	△ 695	△ 134
増減率		△ 12.1	△ 36.8	4.2	△ 15.9	△ 15.4	△ 15.5	△ 12.2
構成比	平17	100.0	14.0	32.4	26.9	11.0	12.7	3.1
	平22	100.0	10.0	38.4	25.7	10.6	12.2	3.1

図 25 農産物販売金額規模別経営体の割合



(1) 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体数

農産物販売金額規模別の経営体数を組織形態別にみると、3,000万円未満の各層では法人化している経営体の占める割合がそれぞれ全体の1%未満であるが、3,000万円以上の階層では法人化している経営体の占める割合が9.3%となり、他の階層と比べて高くなっている。

表 33 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体数 (単位：経営体、%)

	計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区		
		農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	個人経営体				
計	実数	31,139	145	10	135	-	-	30,994	30,994	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.4	-	-	99.5	99.5	-
販売なし	実数	3,124	3	-	3	-	-	3,121	3,121	-
	構成比	100.0	0.1	-	0.1	-	-	99.9	99.9	-
100万円未満	実数	11,963	2	1	1	-	-	11,961	11,961	-
	構成比	100.0	0.0	0.0	0.0	-	-	100.0	100.0	-
100～500	実数	8,004	9	2	7	-	-	7,995	7,995	-
	構成比	100.0	0.1	0.0	0.1	-	-	99.9	99.9	-
500～1,000	実数	3,288	7	-	7	-	-	3,281	3,281	-
	構成比	100.0	0.2	-	0.2	-	-	99.8	99.8	-
1,000～3,000	実数	3,797	34	4	30	-	-	3,763	3,763	-
	構成比	100.0	0.9	0.1	0.8	-	-	99.1	99.1	-
3,000万円以上	実数	963	90	3	87	-	-	873	873	-
	構成比	100.0	9.3	0.3	9.0	-	-	90.7	90.7	-

図 26 組織形態別にみた農産物販売金額規模別経営体の割合

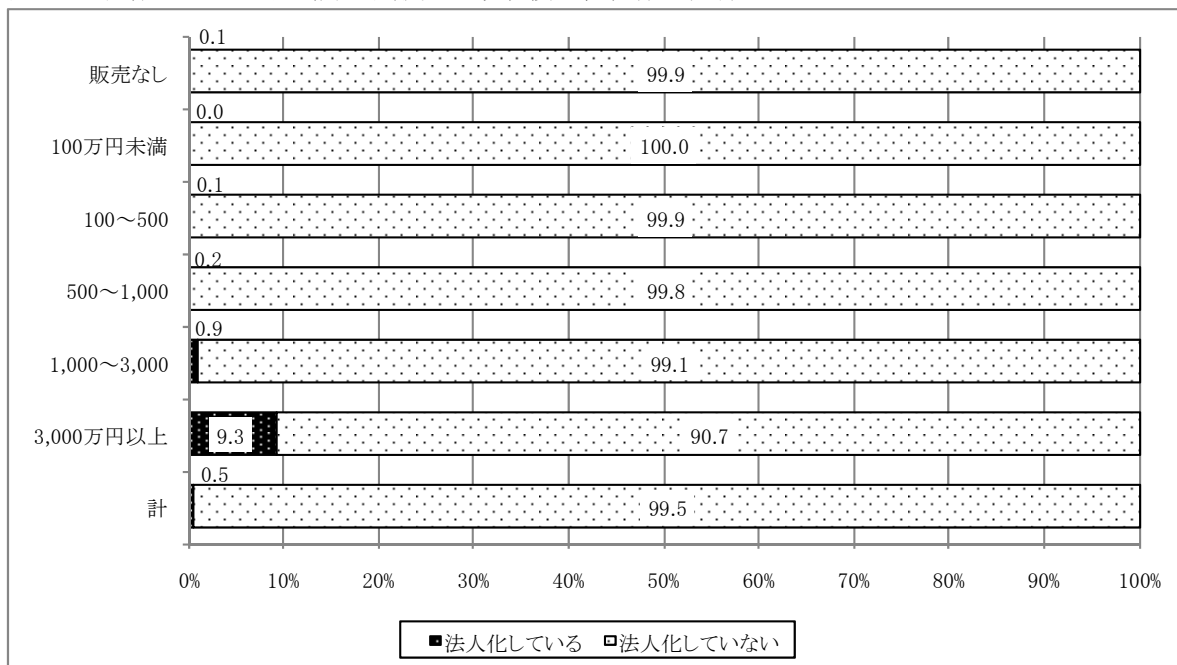
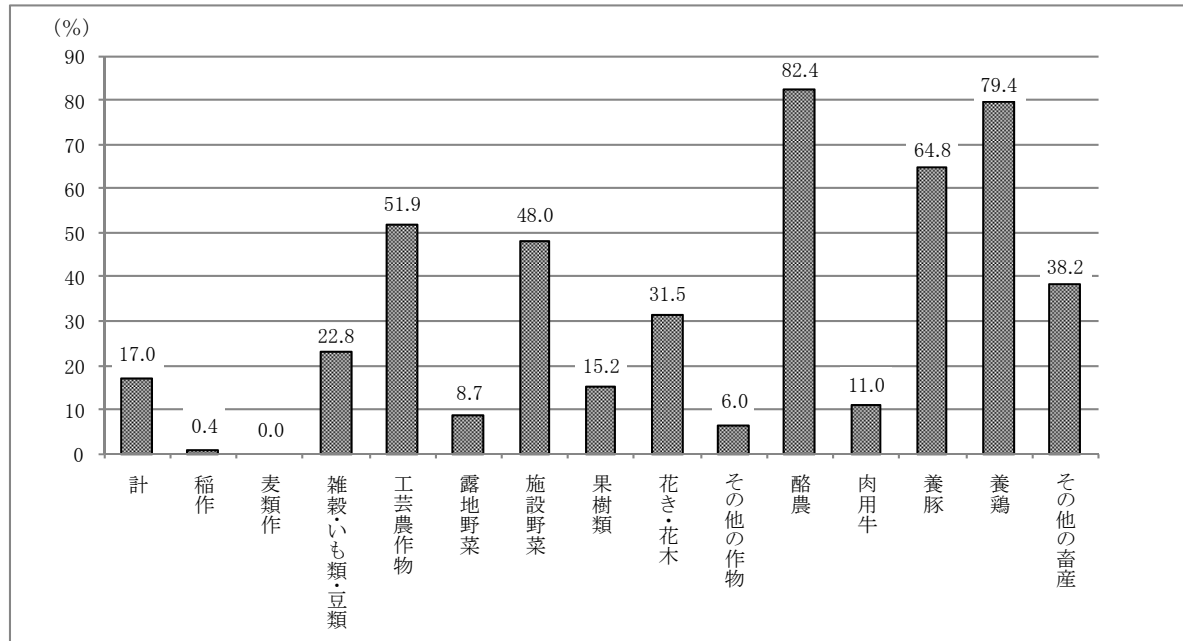


図 27 農産物販売金額 1 位の部門別 1 千万円以上の経営体の割合



4 農業経営組織別経営体数

～農業経営体（家族経営）の7割が単一経営～

農業経営体（家族経営）のうち、販売のあった経営体数は 28,015 経営体となり、前回に比べ 8.1%減少した。

これを農業経営組織別にみると、単一経営の経営体数は 19,966 経営体（全体に占める割合 71.3%）で前回に比べ 10.0%減、準単一複合経営の経営体数は 6,154 経営体（同 22.0%）で前回に比べ 6.4%減とそれぞれ減少した。

一方、複合経営の経営体数は 1,895 経営体（同 6.8%）で前回に比べ 10.0%増加した。

表 34 農業経営組織別経営体数

（単位：経営体、%）

		販売のあった経営体	単一経営経営体	準単一 複合経営経営体	複合経営経営体
実数	平17	30,477	22,178	6,576	1,723
	平22	28,015	19,966	6,154	1,895
増減数		△ 2,462	△ 2,212	△ 422	172
増減率		△ 8.1	△ 10.0	△ 6.4	10.0
構成比	平17	100.0	72.8	21.6	5.7
	平22	100.0	71.3	22.0	6.8

図 28 経営組織別経営体の割合

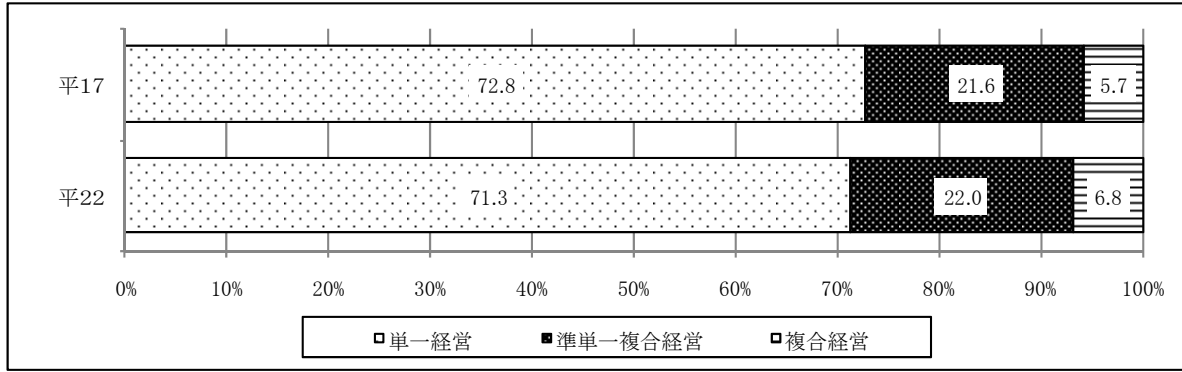


表 35 単一経営経営体の内訳 (単位：経営体、%)

		単一経営経営体(主位部門の農産物販売金額が80%以上の経営体)													
		稲作	雑穀・ いも類 ・豆類	工芸 農作物	露地 野菜	施設 野菜	果樹類	花き ・花木	その他 の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他 の畜産	
実数	平17	22,178	7,872	536	734	1,290	2,797	1,148	531	380	346	5,707	374	440	23
	平22	19,966	7,830	518	385	1,376	2,323	1,220	431	331	250	4,606	260	410	26
増減数		△ 2,212	△ 42	△ 18	△ 349	86	△ 474	72	△ 100	△ 49	△ 96	△ 1,101	△ 114	△ 30	3
増減率		△ 10.0	△ 0.5	△ 3.4	△ 47.5	6.7	△ 16.9	6.3	△ 18.8	△ 12.9	△ 27.7	△ 19.3	△ 30.5	△ 6.8	13.0
構成比	平17	100.0	35.5	2.4	3.3	5.8	12.6	5.2	2.4	1.7	1.6	25.7	1.7	2.0	0.1
	平22	100.0	39.2	2.6	1.9	6.9	11.6	6.1	2.2	1.7	1.3	23.1	1.3	2.1	0.1

5 経営耕地のある経営体数と経営耕地面積

～経営耕地総面積が 1,740ha 減少～

農業経営体（家族経営）のうち、経営耕地のある経営体数は 30,842 経営体となり、農業経営体全体（31,683 経営体）に占める割合は 97.3%、農業経営体（家族経営）（31,139 経営体）に占める割合は 99.0%となった。

これを耕地種類別にみると、田が 29,083 経営体で前回に比べ 12.9%減、畑が 20,283 経営体で 12.6%減、樹園地が 4,209 経営体で 11.4%減とそれぞれ減少した。

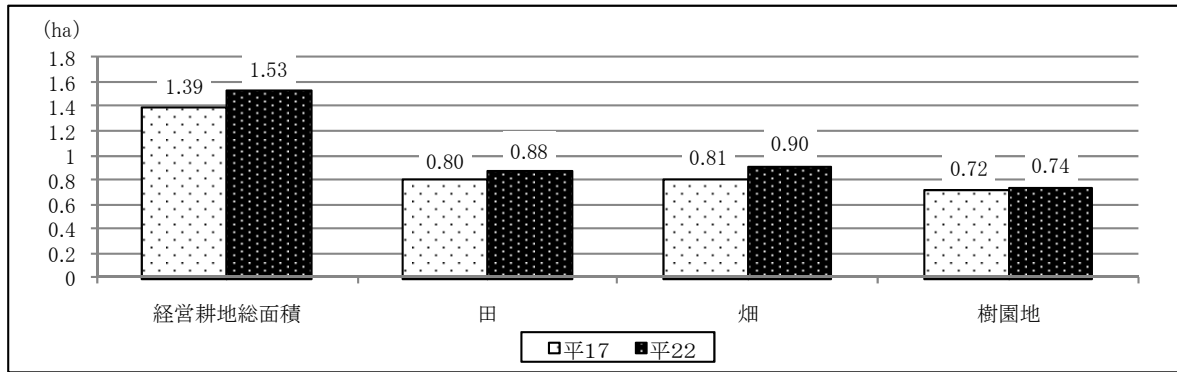
農業経営体（家族経営）の経営耕地面積は 47,119ha で前回に比べ 3.6%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 25,712ha（全体に占める割合 54.6%）で前回に比べ 3.6%減、畑が 18,286ha（同 38.8%）で 2.6%減、樹園地が 3,122ha（同 6.6%）で 8.6%減とそれぞれ減少した。

表 36 経営耕地のある経営体数と経営耕地面積 (単位：経営体、ha、%)

		経営耕地 のある 経営体数	経営耕地 総面積	田		畑		樹園地	
				田のある 経営体数	面積	畑のある 経営体数	面積	樹園地のある 経営体数	面積
実数	平17	35,141	48,859	33,384	26,669	23,216	18,776	4,753	3,414
	平22	30,842	47,119	29,083	25,712	20,283	18,286	4,209	3,122
増減数		△ 4,299	△ 1,740	△ 4,301	△ 957	△ 2,933	△ 490	△ 544	△ 292
増減率		△ 12.2	△ 3.6	△ 12.9	△ 3.6	△ 12.6	△ 2.6	△ 11.4	△ 8.6
構成比	平17	-	100.0	-	54.6	-	38.4	-	7.0
	平22	-	100.0	-	54.6	-	38.8	-	6.6

図 29 1 経営体当たり経営耕地面積



(1) 組織形態別にみた経営耕地面積

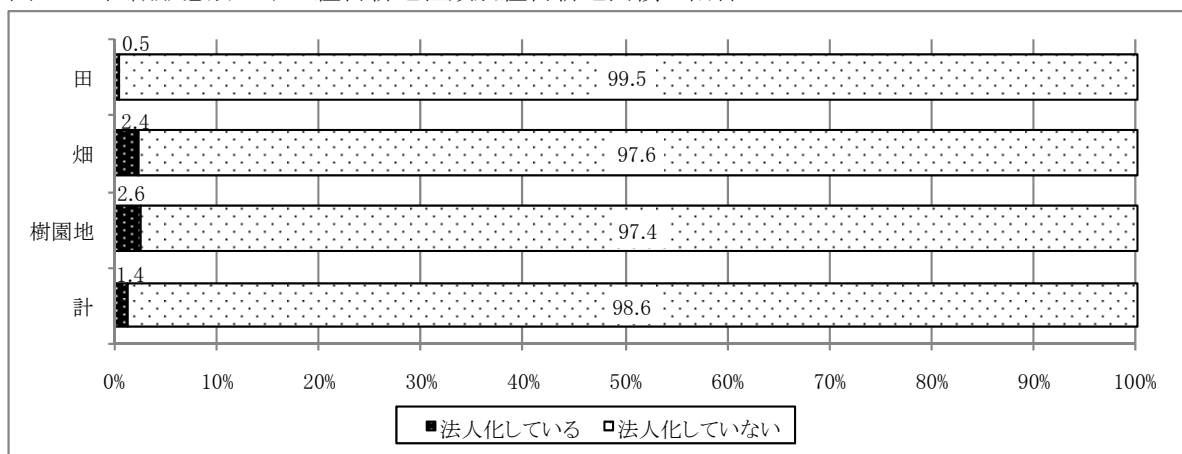
経営耕地種類別の経営耕地面積を組織形態別にみると、法人化している経営体が有する経営耕地面積は 643ha（全体に占める割合 1.4%）、法人化していない経営体が有する経営耕地面積は 46,476ha（同 98.6%）となっている。

1 経営体当たりの経営耕地面積は、法人化している経営体（145 経営体）では 4.4ha、法人化していない経営体（30,994 経営体）では 1.5ha となった。

表 37 組織形態別にみた経営耕地面積 (単位: ha、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区	
			農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	個人経営体			
計	面積	47,119	643	42	601	-	-	46,476	46,476	-
	構成比	100.0	1.4	0.1	1.3	-	-	98.6	98.6	-
田	面積	25,712	130	8	122	-	-	25,582	25,582	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.5	-	-	99.5	99.5	-
畑	面積	18,286	433	27	406	-	-	17,853	17,853	-
	構成比	100.0	2.4	0.1	2.2	-	-	97.6	97.6	-
樹園地	面積	3,122	80	8	72	-	-	3,041	3,041	-
	構成比	100.0	2.6	0.3	2.3	-	-	97.4	97.4	-

図 30 組織形態別にみた経営耕地種類別経営耕地面積の割合



6 経営耕地面積規模別面積

～経営耕地面積 2ha 未満層の農業経営体（家族経営）が 4 割～

農業経営体（家族経営）の経営耕地面積を面積規模別に構成比で見ると、1.0ha 未満層が全体に占める割合は 19.3%で前回に比べ 2.7 ポイント減、1.0～2.0ha 層は 24.3%で 2.4 ポイント減、2.0～3.0ha 層は 14.8%で 0.8 ポイント減、30ha 以上層は 0.7%で 0.3 ポイント減とそれぞれ減少した。

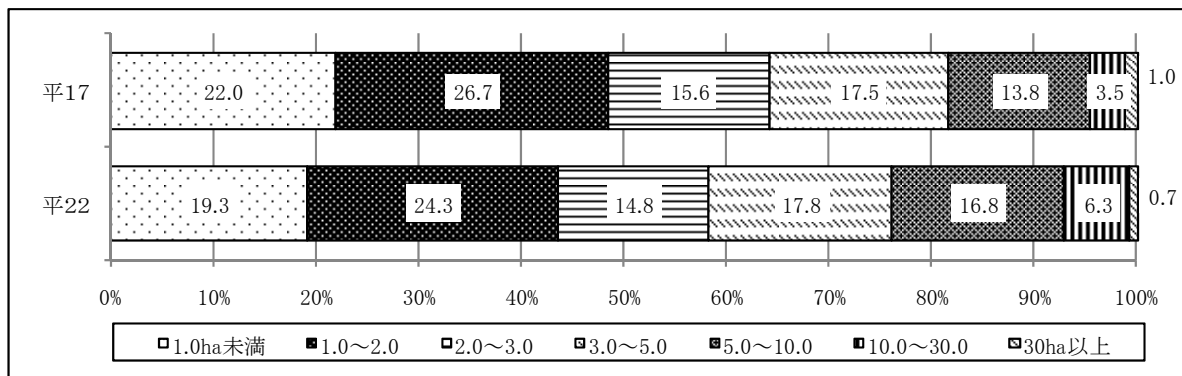
一方、3.0～5.0ha 層は 17.8%で 0.3 ポイント増、5.0～10.0ha 層は 16.8%で 3.0 ポイント増、10.0～30.0ha 層は 6.3%で 2.8 ポイント増とそれぞれ増加した。

表 38 経営耕地面積規模別面積

(単位: ha, %)

		計	1.0ha 未満	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～30.0	30ha 以上
実数	平17	48,859	10,768	13,024	7,626	8,529	6,758	1,687	467
	平22	47,119	9,089	11,456	6,977	8,400	7,897	2,971	329
増減数		△ 1,740	△ 1,679	△ 1,568	△ 649	△ 129	1,139	1,284	△ 138
増減率		△ 3.6	△ 15.6	△ 12.0	△ 8.5	△ 1.5	16.9	76.1	△ 29.6
構成比	平17	100.0	22.0	26.7	15.6	17.5	13.8	3.5	1.0
	平22	100.0	19.3	24.3	14.8	17.8	16.8	6.3	0.7

図 31 経営耕地面積規模別面積の割合



7 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積

～農業経営体（家族経営）の借入耕地面積は前回比 13.9%増加～

農業経営体（家族経営）のうち、借入耕地のある経営体数は 12,792 経営体となり、前回に比べ 5.0%減となった。

これを耕地種類別にみると、田が 9,821 経営体で 3.5%減、畑が 6,223 経営体で 4.7%減、樹園地が 353 経営体で 0.6%減とそれぞれ減少した。

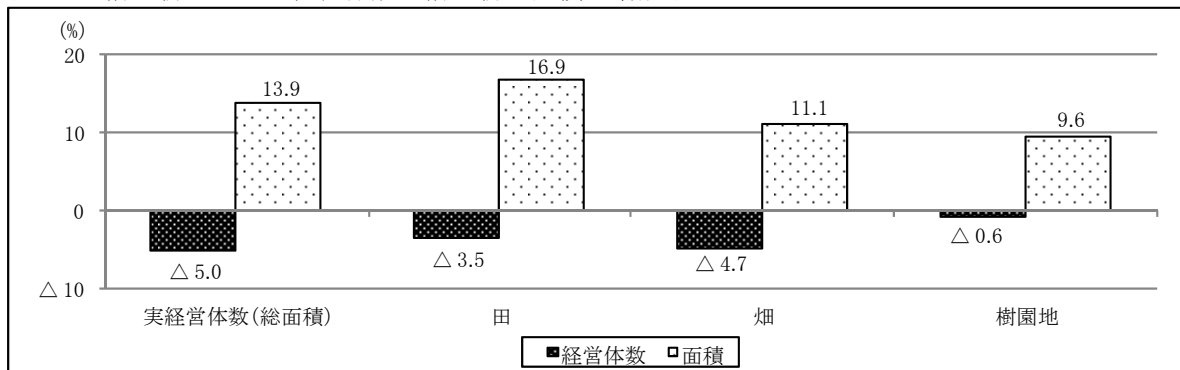
農業経営体（家族経営）の借入耕地総面積は 13,758ha で前回に比べ 13.9%増加した。

これを耕地種類別にみると、田が 6,998ha（全体に占める割合 50.9%）で 16.9%増、畑が 6,532ha（同 47.5%）で 11.1%増、樹園地が 229ha（同 1.7%）で 9.6%増とそれぞれ増加した。

表 39 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積 (単位：経営体、ha、%)

	実経営体数	面積	田		畑		樹園地		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	13,472	12,076	10,180	5,987	6,527	5,880	355	209
	平22	12,792	13,758	9,821	6,998	6,223	6,532	353	229
増減数		△ 680	1,682	△ 359	1,011	△ 304	652	△ 2	20
増減率		△ 5.0	13.9	△ 3.5	16.9	△ 4.7	11.1	△ 0.6	9.6
構成比	平17	-	100.0	-	49.6	-	48.7	-	1.7
	平22	-	100.0	-	50.9	-	47.5	-	1.7

図 32 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積の増減率



8 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積

～農業経営体（家族経営）の耕作放棄地面積は 10.8%減少～

農業経営体（家族経営）のうち、耕作放棄地のある経営体数は 6,696 経営体となり、前回に比べ 17.3%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 4,563 経営体で 18.3%減、畑が 2,768 経営体で 16.0%減、樹園地が 396 経営体で 11.4%減とそれぞれ減少した。

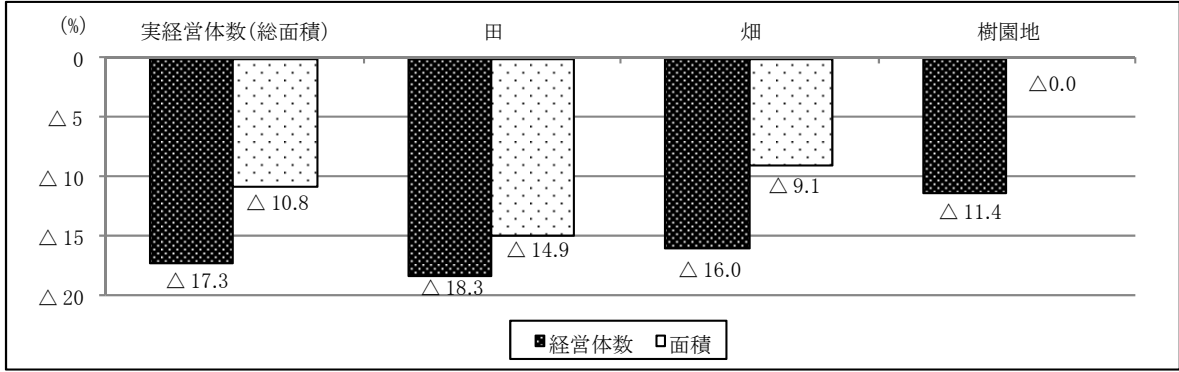
農業経営体（家族経営）の耕作放棄地面積は 1,785ha となり、前回に比べ 10.8%減少した。

これを耕地種類別にみると、田が 803ha（全体に占める割合 45.0%）で 14.9%減、畑が 753ha（同 42.2%）で 9.1%減、樹園地が 230ha（同 12.9%）で 0.0%減とそれぞれ減少した。

表 40 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積 (単位：経営体、ha、%)

	実経営体数	面積	田		畑		樹園地		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	8,092	2,002	5,587	944	3,294	828	447	230
	平22	6,696	1,785	4,563	803	2,768	753	396	230
増減数		△ 1,396	△ 217	△ 1,024	△ 141	△ 526	△ 75	△ 51	△ 0
増減率		△ 17.3	△ 10.8	△ 18.3	△ 14.9	△ 16.0	△ 9.1	△ 11.4	△ 0.0
構成比	平17	-	100.0	-	47.2	-	41.4	-	11.5
	平22	-	100.0	-	45.0	-	42.2	-	12.9

図 33 耕作放棄地のある経営体数と耕作放棄地面積の増減率



9 農作物の類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積

～実経営体数及び面積ともに減少～

農業経営体（家族経営）のうち、農作物を販売目的で作付（栽培）した実経営体数は 24,344 経営体で前回に比べ 9.2%減、作付（栽培）面積は 26,682ha で 4.9%減とそれぞれ減少した。

このうち、作付（栽培）経営体数が多かったのは、稲が 20,600 経営体で前回に比べ 8.1%減、次いで野菜類が 9,876 経営体で 10.6%減、いも類が 2,218 経営体で 19.8%減などとなっている。

作付（栽培）面積が多かったのは、稲が 13,371ha（全体に占める割合 50.1%）で前回に比べ 1.2%減、次いで野菜類が 6,563ha（同 24.6%）で 6.1%減、いも類が 3,005ha（同 11.3%）で 28.5%増などとなっている。

表 41 農作物の類別作付（栽培）経営体数と作付（栽培）面積（単位：経営体、ha、%）

	作付 (栽培) 実経営体数	作付 (栽培) 面積	稲		麦類		雑穀		いも類		
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	
実数	平17	26,809	28,044	22,425	13,529	114	31	367	138	2,765	2,339
	平22	24,344	26,682	20,600	13,371	203	68	515	201	2,218	3,005
	増減数	△ 2,465	△ 1,362	△ 1,825	△ 158	89	37	148	63	△ 547	666
	増減率	△ 9.2	△ 4.9	△ 8.1	△ 1.2	78.1	119.4	40.3	45.7	△ 19.8	28.5
構成比	平17	-	100.0	-	48.2	-	0.1	-	0.5	-	8.3
	平22	-	100.0	-	50.1	-	0.3	-	0.8	-	11.3

(つづき)

	経営体数	面積	豆類		工芸農作物		野菜類		花き類・花木		その他の作物	
			経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
実数	平17	911	174	2,048	3,522	11,049	6,993	1,049	461	1,142	858	
	平22	584	105	1,486	2,636	9,876	6,563	923	398	378	336	
	増減数	△ 327	△ 69	△ 562	△ 886	△ 1,173	△ 430	△ 126	△ 63	△ 764	△ 522	
	増減率	△ 35.9	△ 39.7	△ 27.4	△ 25.2	△ 10.6	△ 6.1	△ 12.0	△ 13.7	△ 66.9	△ 60.8	
構成比	平17	-	0.6	-	12.6	-	24.9	-	1.6	-	3.1	
	平22	-	0.4	-	9.9	-	24.6	-	1.5	-	1.3	

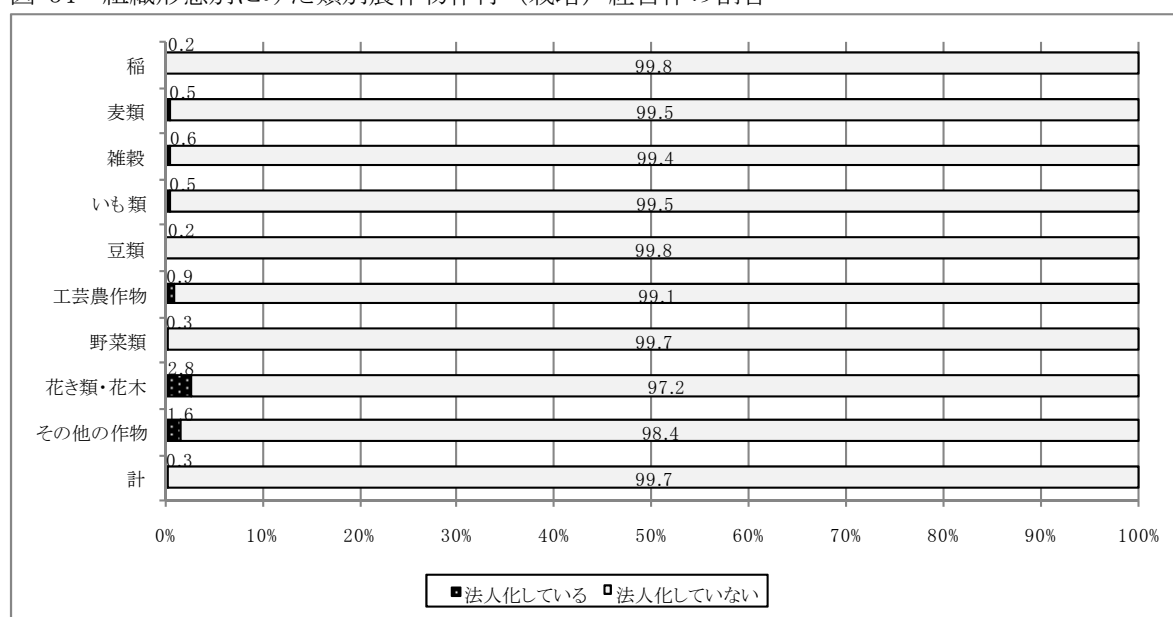
(1) 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）経営体数

農作物の類別作付（栽培）経営体数を組織形態別にみると、法人化している経営体の農作物作付（栽培）実経営体数は 85 経営体（全体に占める割合 0.3%）、法人化していない経営体の農作物作付（栽培）実経営体数は 24,259 経営体（同 99.7%）となった。

表 42 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）経営体数 (単位：経営体、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体			
計	実数	24,344	85	7	78	-	-	24,259	24,259	-
	構成比	100.0	0.3	0.0	0.3	-	-	99.7	99.7	-
稲	実数	20,600	35	3	32	-	-	20,565	20,565	-
	構成比	100.0	0.2	0.0	0.2	-	-	99.8	99.8	-
麦類	実数	203	1	-	1	-	-	202	202	-
	構成比	100.0	0.5	-	0.5	-	-	99.5	99.5	-
雑穀	実数	515	3	-	3	-	-	512	512	-
	構成比	100.0	0.6	-	0.6	-	-	99.4	99.4	-
いも類	実数	2,218	10	2	8	-	-	2,208	2,208	-
	構成比	100.0	0.5	0.1	0.4	-	-	99.5	99.5	-
豆類	実数	584	1	-	1	-	-	583	583	-
	構成比	100.0	0.2	-	0.2	-	-	99.8	99.8	-
工芸 農作物	実数	1,486	13	1	12	-	-	1,473	1,473	-
	構成比	100.0	0.9	0.1	0.8	-	-	99.1	99.1	-
野菜類	実数	9,876	31	4	27	-	-	9,845	9,845	-
	構成比	100.0	0.3	0.0	0.3	-	-	99.7	99.7	-
花き類 ・花木	実数	923	26	-	26	-	-	897	897	-
	構成比	100.0	2.8	-	2.8	-	-	97.2	97.2	-
その他 の作物	実数	378	6	-	6	-	-	372	372	-
	構成比	100.0	1.6	-	1.6	-	-	98.4	98.4	-

図 34 組織形態別にみた類別農作物作付（栽培）経営体の割合



(2) 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）面積

農作物の類別作付（栽培）面積を組織形態別にみると、法人化している経営体の農作物作付（栽培）面積は461ha（全体に占める割合1.7%）、法人化していない経営体の農作物作付（栽培）面積は26,221ha（同98.3%）となった。

表 43 組織形態別にみた農作物の類別作付（栽培）面積（単位：ha、%）

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人	個人 経営体			
計	実数	26,682	461	20	441	-	-	26,221	26,221	-
	構成比	100.0	1.7	0.1	1.7	-	-	98.3	98.3	-
稲	実数	13,371	65	2	63	-	-	13,306	13,306	-
	構成比	100.0	0.5	0.0	0.5	-	-	99.5	99.5	-
麦類	実数	68	x	-	x	-	-	x	x	-
	構成比	100.0	x	-	x	-	-	x	x	-
雑穀	実数	201	3	-	3	-	-	198	198	-
	構成比	100.0	1.5	-	1.5	-	-	98.5	98.5	-
いも類	実数	3,005	60	x	x	-	-	2,945	2,945	-
	構成比	100.0	2.0	x	x	-	-	98.0	98.0	-
豆類	実数	105	x	-	x	-	-	x	x	-
	構成比	100.0	x	-	x	-	-	x	x	-
工芸 農作物	実数	2,636	83	x	x	-	-	2,553	2,553	-
	構成比	100.0	3.1	x	x	-	-	96.9	96.9	-
野菜類	実数	6,563	122	6	116	-	-	6,441	6,441	-
	構成比	100.0	1.9	0.1	1.8	-	-	98.1	98.1	-
花き類 ・花木	実数	398	31	-	31	-	-	366	366	-
	構成比	100.0	7.8	-	7.8	-	-	92.0	92.0	-
その他 の作物	実数	336	94	-	94	-	-	241	241	-
	構成比	100.0	28.0	-	28.0	-	-	71.7	71.7	-

(3) 地域分類別にみた農作物の類別作付（栽培）面積

地域分類別に農作物の類別作付（栽培）面積をみると、児湯地域が6,832ha（全体に占める割合25.6%）、次いで中部地域が6,084ha（同22.8%）となっている。

表 44 地域分類別にみた農作物の類別作付（栽培）面積（単位：ha、%）

	計		稲		麦類		雑穀		いも類	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宮崎県計	26,682	100.0	13,371	100.0	68	100.0	201	100.0	3,005	100.0
中部地域	6,084	22.8	2,954	22.1	x	x	x	x	x	x
南那珂地域	2,578	9.7	1,416	10.6	x	x	11	5.3	x	x
北諸県地域	3,923	14.7	1,866	14.0	x	x	50	25.0	x	x
西諸県地域	4,330	16.2	2,089	15.6	18	26.3	x	x	x	x
児湯地域	6,832	25.6	2,866	21.4	13	19.5	x	x	x	x
東白杵地域	1,912	7.2	1,488	11.1	16	23.3	9	4.6	x	x
西白杵地域	1,023	3.8	692	5.2	x	x	x	x	x	x

(つづき)

	豆類		工芸農作物		野菜類		花き類・花木		その他の作物	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
宮崎県計	105	100.0	2,636	100.0	6,563	100.0	398	100.0	336	100.0
中部地域	18	17.5	894	33.9	1,789	27.3	x	x	77	22.8
南那珂地域	x	x	177	6.7	187	2.8	x	x	x	x
北諸県地域	x	x	210	8.0	796	12.1	x	x	x	x
西諸県地域	11	10.4	298	11.3	1,599	24.4	50	12.6	x	x
児湯地域	17	16.4	775	29.4	x	x	69	17.2	159	47.5
東白杵地域	12	11.3	81	3.1	156	2.4	123	30.9	x	x
西白杵地域	x	x	202	7.7	x	x	30	7.6	2	0.7

10 家畜の飼養経営体数と飼養頭羽数

～ 1 経営体当たりの飼養頭羽数が肉用牛、豚、採卵鶏で増加～

農業経営体（家族経営）のうち、販売目的で家畜を飼養している経営体数は、乳用牛が 490 経営体で前回に比べ 4.5%減、肉用牛が 8,608 経営体で 18.1%減、豚が 317 経営体で 33.5%減、採卵鶏が 91 経営体で 43.1%減、ブロイラーを出荷した経営体数が 378 経営体で 4.5%減とそれぞれ減少した。

飼養頭羽数は、乳用牛が 16,470 頭で前回に比べ 12.2%減、肉用牛が 198,608 頭で 3.9%減、豚が 183,670 頭で 23.7%減、採卵鶏が 1,646,000 羽で 3.8%減、ブロイラーの出荷羽数が 72,364,000 羽で 9.4%減とそれぞれ減少した。

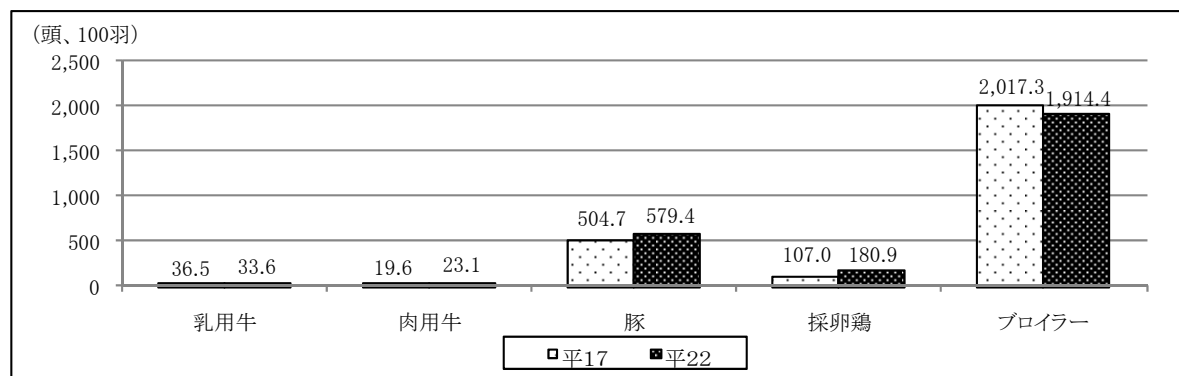
1 経営体当たりの飼養頭羽数は、乳用牛が 33.6 頭で前回に比べ 2.9 頭減、ブロイラーが 191,440 羽で 10,290 羽減とそれぞれ減少した。

一方、肉用牛が 23.1 頭で 3.5 頭増、豚が 579.4 頭で 74.7 頭増、採卵鶏が 18,090 羽で 7,390 羽増とそれぞれ増加した。

表 45 家畜の飼養経営体数と飼養頭羽数 (単位：経営体、頭、100羽、%)

		乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		ブロイラー	
		飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養頭数	飼養経営体数	飼養羽数	出荷した経営体数	出荷羽数
実数	平17	513	18,750	10,516	206,636	477	240,759	160	17,119	396	798,868
	平22	490	16,470	8,608	198,608	317	183,670	91	16,460	378	723,640
増減数		△ 23	△ 2,280	△ 1,908	△ 8,028	△ 160	△ 57,089	△ 69	△ 659	△ 18	△ 75,228
増減率		△ 4.5	△ 12.2	△ 18.1	△ 3.9	△ 33.5	△ 23.7	△ 43.1	△ 3.8	△ 4.5	△ 9.4
1経営体当たり飼養頭羽数	平17	36.5		19.6		504.7		107.0		2,017.3	
	平22	33.6		23.1		579.4		180.9		1,914.4	
	増減数	△ 2.9		3.5		74.7		73.9		△ 102.9	

図 35 1 経営体当たり飼養頭羽数



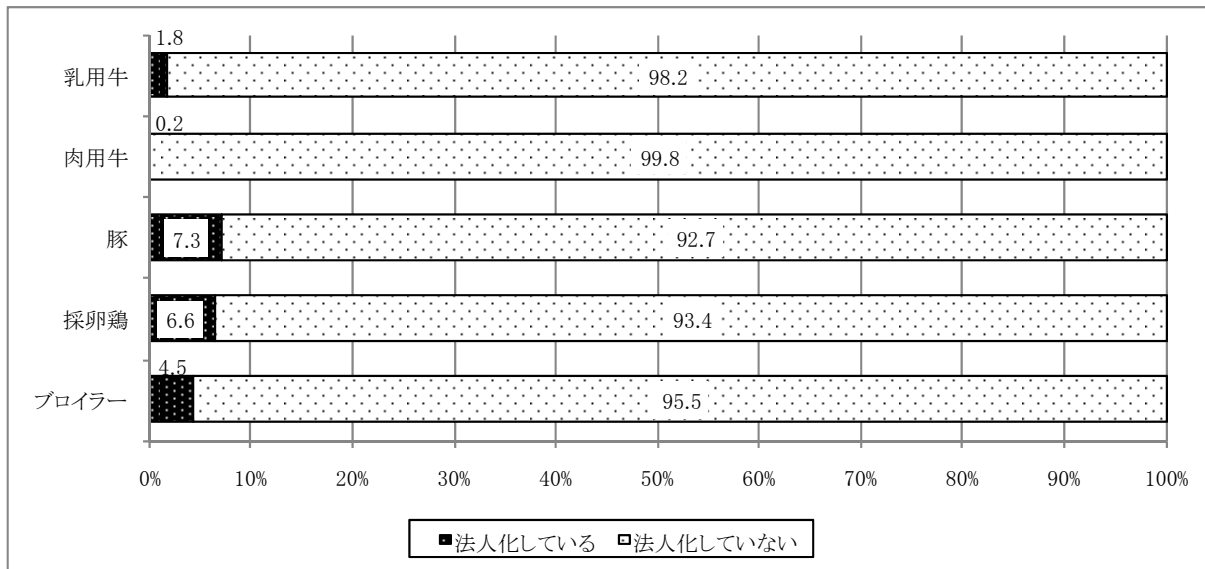
（１） 組織形態別にみた家畜の飼養経営体数

家畜の飼養経営体数を組織形態別にみると、全体的に法人化していない経営体の占める割合が高いが、豚及び採卵鶏においては法人化している経営体の占める割合が５％を超えており、他と比較すると高くなっている。

表 46 組織形態別にみた家畜の飼養経営体数 (単位：経営体、%)

	計	法人化している				法人化していない		地方公共団体・財産区	
		農事組合法人	会社	各種団体	その他の法人	個人経営体			
乳用牛	実数	490	9	2	7	-	481	481	-
	構成比	100.0	1.8	0.4	1.4	-	98.2	98.2	-
肉用牛	実数	8,608	20	1	19	-	8,588	8,588	-
	構成比	100.0	0.2	0.0	0.2	-	99.8	99.8	-
豚	実数	317	23	1	22	-	294	294	-
	構成比	100.0	7.3	0.3	6.9	-	92.7	92.7	-
採卵鶏	実数	91	6	1	5	-	85	85	-
	構成比	100.0	6.6	1.1	5.5	-	93.4	93.4	-
ブロイラー	実数	378	17	1	16	-	361	361	-
	構成比	100.0	4.5	0.3	4.2	-	95.5	95.5	-

図 36 組織形態別にみた家畜を飼養する経営体の割合



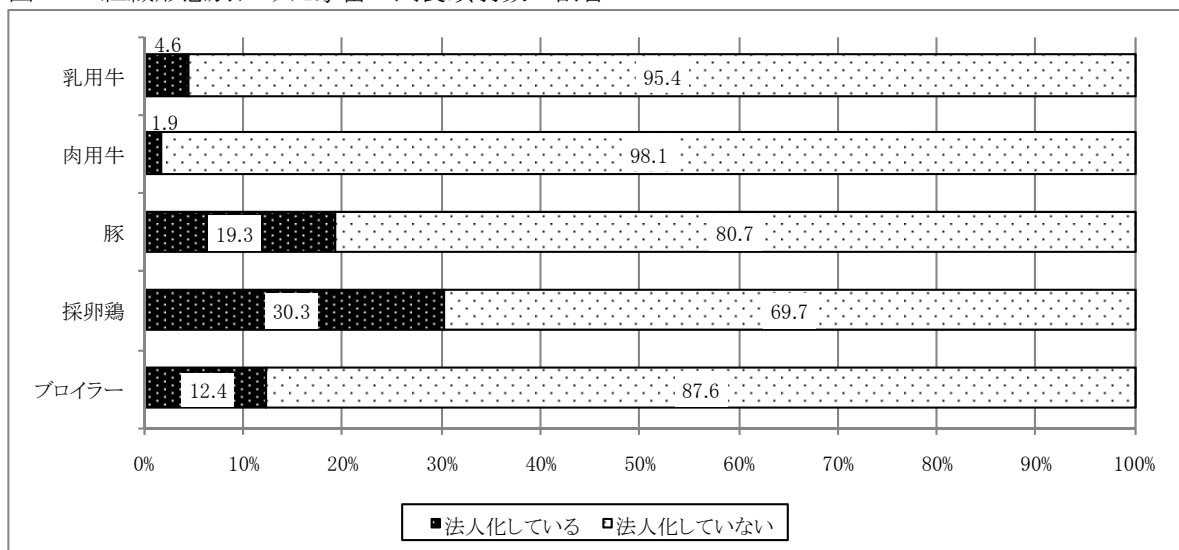
(2) 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数

家畜の飼養頭羽数を組織形態別にみると、法人化している経営体の占める割合が豚で19.3%、採卵鶏で30.3%となり、前出の経営体数の割合と比較すると、法人化している経営体の占める割合が高くなっている。

表 47 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数 (単位:頭、羽、%)

		計	法人化している				法人化していない		地方公 共団体 ・財産区	
			農事組合 法人	会社	各種 団体	その他の 法人		個人 経営体		
乳用牛	飼養頭数	16,470	764	x	x	-	-	15,706	15,706	-
	構成比	100.0	4.6	x	x	-	-	95.4	95.4	-
肉用牛	飼養頭数	198,608	3,772	x	x	-	-	194,836	194,836	-
	構成比	100.0	1.9	x	x	-	-	98.1	98.1	-
豚	飼養頭数	183,670	35,450	x	x	-	-	148,220	148,220	-
	構成比	100.0	19.3	x	x	-	-	80.7	80.7	-
採卵鶏	飼養羽数	1,646,032	498,328	x	x	-	-	1,147,704	1,147,704	-
	構成比	100.0	30.3	x	x	-	-	69.7	69.7	-
ブロイラー	出荷羽数	72,363,982	8,949,349	x	x	-	-	63,414,633	63,414,633	-
	構成比	100.0	12.4	x	x	-	-	87.6	87.6	-

図 37 組織形態別にみた家畜の飼養頭羽数の割合



11 果樹の栽培経営体数と栽培面積

～その他のかんきつ類を栽培する経営体が増加～

農業経営体（家族経営）のうち、販売目的で果樹栽培を行った経営体数は、2,973経営体で前回に比べ2.7%減、栽培面積は2,107haで1.3%減とそれぞれ減少した。

このうち、栽培経営体数が多かったのは、その他のかんきつ類が1,310経営体で前回に比べ4.7%増、くりが728経営体で10.9%減、温州みかんが703経営体で17.8%減などとなっている。

表 48 果樹の栽培経営体数と栽培面積 (単位：経営体、ha、%)

		栽培実 経営体数	栽培面積 合計	温州みかん	その他の かんきつ類	りんご	ぶどう	なし
実数	平17	3,055	2,135	855	1,251	4	227	90
	平22	2,973	2,107	703	1,310	5	202	72
増減数		△ 82	△ 28	△ 152	59	1	△ 25	△ 18
増減率		△ 2.7	△ 1.3	△ 17.8	4.7	25.0	△ 11.0	△ 20.0

(つづき)

		もも	かき	くり	うめ	すもも	キウイ フルーツ	その他の 果樹
実数	平17	71	197	817	271	…	…	388
	平22	65	202	728	232	41	21	463
増減数		△ 6	5	△ 89	△ 39	-	-	75
増減率		△ 8.5	2.5	△ 10.9	△ 14.4	-	-	19.3

12 水稲作作業を委託した経営体数

～防除作業以外は全て減少～

稲を作った農業経営体（家族経営）のうち、水稲作を委託した経営体数は 18,304 経営体で前年に比べ 24.3%減少した。

これを作業別にみると、防除以外は全て減少した。

作業別に委託した経営体のうち、稲を作った経営体（27,671 経営体）に対する割合は、育苗が 37.4%、耕起・代かきが 4.7%、田植が 24.9%、防除が 14.9%、稲刈り・脱穀が 32.9%、乾燥・調製が 45.9%となっている。

表 49 水稲作作業を委託した経営体数 (単位：経営体、%)

		水稲作の作業種類別経営体数							
		実経営 体数	全作業	作業別に委託した					
				育苗	耕起・ 代かき	田植	防除	稲刈り ・脱穀	乾燥・ 調製
実数	平17	24,164	1,767	14,536	1,384	8,705	3,789	11,311	17,910
	平22	18,304	1,192	10,350	1,307	6,895	4,125	9,099	12,695
増減数		△ 5,860	△ 575	△ 4,186	△ 77	△ 1,810	336	△ 2,212	△ 5,215
増減率		△ 24.3	△ 32.5	△ 28.8	△ 5.6	△ 20.8	8.9	△ 19.6	△ 29.1
稲を作った経営体 に対する割合	平17	75.5	5.5	45.4	4.3	27.2	11.8	35.3	55.9
	平22	66.1	4.3	37.4	4.7	24.9	14.9	32.9	45.9

※稲を作った経営体数は、平成 17 年が 32,019 経営体、平成 22 年が 27,671 経営体

図 38 稲を作った経営体に対する水稲作を委託した経営体の割合

